

平成23年度第1回香川県後期高齢者医療広域連合懇話会会議概要

1 日 時 平成24年1月26日（木）午後3時30分から午後4時56分

2 場 所 香川県自治会館 7階 会議室

3 出席者

【委員】 岡本委員、久保委員、真鍋委員、高木委員、久米川委員、
藤原委員、辻上委員、松尾委員、高嶋委員

【事務局】 喜多事務局長、森事務局次長兼総務課長、岩滝事業課長、岡田
総務グループリーダー、伊藤資格管理グループリーダー、山本保
険料グループリーダー、浜田医療給付グループリーダー、和田森主査

4 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

- (1) 平成22年度後期高齢者医療事業の状況について
- (2) 平成24年度及び平成25年度の後期高齢者医療保険料について(案)
- (3) その他

5 懇話会会議の経過等

- (1) 平成22年度後期高齢者医療事業の状況について
資料に基づく事務局からの説明と、それに対し委員から意見等があった。
- (2) 平成24年度及び平成25年度の後期高齢者医療保険料について(案)
資料に基づく事務局からの説明と、それに対し委員から意見等があった。
- (3) その他

ア 平成24年度後期高齢者医療被保険者証について

平成24年8月からの同被保険者証の色と印刷内容について説明し、
それに対し委員から意見等があった。

イ 後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証について

平成24年4月からの外来現物給付化に伴い、後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証の表記が変更することについて説明し、それに対し委員から意見等があった。

ウ 後期高齢者医療制度の今後の見通しについて

後期高齢者医療制度の現時点での状況等について説明した。

【 質疑及び意見の概要等 】

1 後期高齢者医療事業の状況について

(委員) 土庄町の被保険者1人あたり診療費と健康診査受診率が低いのは、どのような理由であるのか。

(事務局) 診療費は、地理的状況及び病院数によると思われるが、健康診査受診率については、事業所での健診なども考えられ、今後、それらのデータもできるだけ反映させたい。

(委員) 介護保険で受診しているデータが入っていないので、医療と健診の比較は難しく、この表だけでは分からない。

(委員) 総合的な政策は県が立てるべきであり、懇話会だけでは難しい。県と連携し、何らかの対策をし、各制度の情報を把握しないといけない。

2 後期高齢者医療保険料について

(委員) 本来は、増加する予定であるが、繰越金と財政調整基金を取り崩して充当される。また、上限は政令改正により55万円に上昇することになる。この2か年は現状維持であるが、その次の2年は、取り崩しが底をつくのではないか。

(委員) 保険料がそのままであるのはいいことである。医者の方の医療費の問題や、政情も不安定でもあるので、特に保険料についての意見はありません。

3 被保険者証について

(委員) 臓器提供の意思表示が複雑であり、拒否のときのみ意思表示するなどシンプルな形にならないか。

(事務局) 国から示されており、様式の変更予定はありません。

4 外来現物化について

(委員) 新しい減額認定証の更新が8月になるが、制度改正の4月以降、被保険者への対応はどうするのか。

(事務局) 医療機関ではポスター掲示や、市町の広報を通じての周知、ホームページ掲載のほか、該当の被保険者にも直接通知をする予定である。

5 後期高齢者医療費について

(委員) 核家族が多い中、知り合いの高齢者は、デイサービスなどを週2、3日利用して、随分体調が良くなったと聞く。医療に掛かる一歩手前で体調管理ができるのではないか。各地域の方の健康への関心度で、医療費が上がるのを考慮できるのではないか。